

A photograph of a newborn baby being held by a person's hands. The baby is lying down, looking up with its mouth slightly open. The person holding the baby is wearing a light-colored, textured sweater. The hands are positioned gently around the baby's chest and arms. The background is a soft, out-of-focus light color.

群馬県こどもまんなか 推進プログラム（案）

令和7年3月



こどもまんなか推進プログラム 4つのテーマ

- こどもまんなか推進プログラム骨子では、少子化の主な要因となっている有配偶率と有配出生数等に
着目し、これと相関が認められるデータと県民の声を基にこども施策で対処する課題を分析
- 「誰一人取り残さず、すべてのこどもと家庭が幸福を実感できる社会」を目指す4つのテーマに整理

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組めます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

- ① ICTの活用による学びの機会拡大
- ② 非認知能力の育成
- ③ 希望に応じた働き方を選択できる環境整備

03 子育て世帯の負担軽減

妊娠・出産・教育・医療・住居等の様々な不安の解消や負担の軽減に取り組み、誰もが暮らしやすい地域の実現につなげていきます。

- ① 安心して妊娠・出産できる環境整備
- ② 育児にかかる手続きの簡略化
- ③ こどもが地域で育まれる環境の充実

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

- ① こどもが安心して過ごせる居場所づくり
- ② 育ちに大きな影響を与える保育の質の確保
- ③ 外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり

04 社会全体の意識・構造改革

地域や社会全体でこどもや子育て世代を応援するとともに、労働環境を改善し、誰もが暮らしやすいと感じる風土・機運を醸成していきます。

- ① 家庭と仕事の両立
- ② 家事・育児分担の推進
- ③ 移住先としての群馬県の子育て環境のPR



こどもまんなか推進プログラムの編成にあたって

～こども・子育て施策を持続的に強力に推進するために～

部局を横断した 子育て施策の推進

各部局の垣根を越えた課題の共有
や施策の検討によって、制度や組
織の狭間に埋もれがちなこどもた
ちや子育て世帯への支援を検討

複合的な社会課題に対して こども施策起点のアプローチ

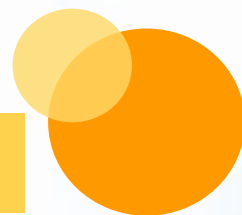
各部局の施策にこども施策の要素
を付加し施策効果を高めることや、
複合的な行政課題にこども施策を
起点としたアプローチで検討

「今のリアルな声」をしっかりと

“こども・若者の声”をしっかりと聴
き、ぐんまこどもビジョン2025
計画期間中(5年間)に生じた新た
な課題についても、スピード感を持っ
て対応

全庁一丸となって、新たな群馬モデルとなる
こども・子育て施策群「こどもまんなか推進プログラム」の構築
次年度以降もアップデート

こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (新規・拡充事業)



01 群馬の未来を担う若者の育成

- ・デジタルクリエイティブ人材育成 (tsukurun・TUMO Gunma)
- ・群馬県公立学校1人1台端末等整備
- 新** 教育DX推進自走支援
- 新** 小中学校等のデジタル基盤整備
- ・群馬デジタルイノベーションチャレンジ
- ・非認知能力の評価・育成
- ・ぐんまプレキッズ・ぐんまスーパーキッズプロジェクト、スタージュニア
- ・尾瀬ネイチャーラーニング (STEAM教育)
- ・高校生リバースメンター
- ・グローバル始動人テイクオフ
- 新** アート教育 (群馬パーセントフォーアート推進)
- ・インディアナポリスこども博物館交流
- ・環境学習
- 新** ぐんま留学・国際交流 (企業認証制度運営)

03 子育て世帯の負担軽減

- ・先天性代謝異常等検査
- 新** 周産期・小児医療体制整備
- ・小児医療センター再整備事業 (基本設計業務等)
- 新** 妊産婦支援充実(産後ケア事業等)
- ・デジタルぐーちょきパスポートの改修
- ・子ども医療費補助 (医療費助成の受給者証とマイナ保険証の一体化)
- 新** 民間プラットフォームを活用した学用品負担軽減
- ・こどもデマンドタクシー
- ・子育て世帯に優しい県営住宅の管理・活用
- ・私立高等学校授業料支援

02 全てのこどもの幸福度向上

- 新** プロスポーツ等と連携したこどもの居場所づくり・体験創出モデル
- 新** 県営住宅の空きスペースを活用したこどもの居場所づくり
- 新** 朝のこどもの居場所づくりモデル
- ・学校給食への有機農産物利用促進
- ・学びと家庭のサポート (スクールソーシャルワーカー配置拡充)
- ・心と学びのサポートセンター「つなぐん」運営
- 新** 「県広報番組の制作・放送」(子育て応援番組)
- 新** ぐんまの食材でこども食堂応援
- ・こどもの居場所づくり推進
- ・子どもの生活・学習支援
- ・医療的ケア児等支援センター
- ・児童相談所一時保護所こどもアドボカシー
- ・ヤングケアラー支援推進
- ・ケアリーバー支援拡充
- ・低年齢児保育施策の充実
- ・「やさしい日本語」普及
- ・外国人児童生徒等教育充実総合対策

04 社会全体の意識・構造改革

- 新** 家庭内での家事・育児分担の推進
- ・企業認証制度運営
- ・働く女性の活躍推進
- ・働き方改革推進(魅力ある職場づくり)
- ・IT人材育成×女性就労支援 MAITSURUプロジェクト
- ・女性医師等就労環境整備・保育支援
- ・ぐんま暮らしブランド化推進・ぐんまテレワーク推進プロジェクト

登載事業数 48本

R7当初予算額 7,347,218千円



R6当初予算額 1,551,735千円

こどもたち一人一人が大切にされ、全ての人がこどもの育ちを支える社会を目指して

－ こども・子育て施策を社会課題解決のエンジンに －

01

群馬の未来を担う若者の育成

“日本最先端クラスのデジタル県における人材育成”

- こどもたちを対象に、県独自の人材育成拠点「tsukurun」と、国際的に評価の高い人材育成プログラムをアジアで初めて導入する「TUMO Gunma」によって、**日本一のデジタルクリエイティブ人材輩出県**を目指す。
- ICTリテラシーやデジタルツールを適切かつ効果的に活用した情報の収集、分析、自らの考えを発信する活動等を通じて、**すべてのこどもの未来を切り拓く力**を育む。



02

全てのこどもの幸福度向上

“アップデートされた育ちの環境でこどものウェルビーイング向上”

- 県内プロスポーツチーム等との連携や、県営住宅集会所の改修による学習の場の提供、朝の居場所確保等により、場所・時間・人とのつながりを重視した**群馬県ならではの質の高い「居場所づくり」**を推進する。
- 幼児期は、しっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成によって人生の確かなスタートを切るための最も重要な時期。**低年齢児の保育環境充実に投資し、群馬県で育つこどもの将来にわたる高いウェルビーイングの基礎**を築く。
- 自宅のPCから学習や教育相談、集団の活動に参加できる「つなぐんオンラインサポート（つなサポ）」により、**様々な理由で長期欠席している児童生徒が自分のペースで学びをオーダーメイドできる場**を提供する。



こどもたち一人一人が大切にされ、全ての人がこどもの育ちを支える社会を目指して

－ こども・子育て施策を社会課題解決のエンジンに －

03

子育て世帯の負担軽減

**“全国トップクラスの子ども医療費無料化制度
と連結する充実の母子保健+周産期・小児医療体制”
“切れ目のない負担軽減施策による子育て不安の解消”**

point

- ・ 県内全域で高校生世代までを対象とした子ども医療費無料化は、「所得制限なし」、「自己負担なし」、「窓口での立替払いなし」の全国で最も手厚く使いやすい制度。
- ・ 子ども医療費無料化制度の下、県立小児医療センターの再整備や新生児の先天性疾患への対応など周産期・小児医療体制の強化と産前・産後ケアの充実により、全国NO.1の体制で群馬のこどもの誕生を支える。
- ・ 県立小児医療センター移転にあわせて、北毛地域の周産期・小児医療体制を確保する。
- ・ 私立高等学校に通う生徒のいる中間所得層に向けた授業料支援を実施する。

04

社会全体の意識・構造改革

**“働きやすい、暮らしやすい、育てやすい”
選ばれ続ける仕掛けづくり”**

point

- ・ 子育てや働き盛り世代からの人気が高く、群馬県は移住希望地ランキングで20代・40代で1位。※「転職なき移住」の適地として高評価。※2023年
- ・ こどもを中心に据えた親子テレワーク移住体験事業「保育園留学」によって、豊かな自然環境や東京との近接性、恵まれた住環境といった群馬県の暮らしの魅力を内外に示し、子育て・若者世代に選ばれ続ける地域を目指す。
- ・ 企業認証制度や企業向けセミナーの実施により、働きやすく、働きがいのある魅力的な職場環境整備を行う。



ライフステージごとの切れ目のない支援

スタート！

こどもの誕生前～乳幼児期～はじめの100か月のこどもにやさしい環境

妊産婦



- ・ 周産期・小児医療体制整備
- ・ 産前・産後ケア体制強化

こどもの誕生



- ・ 先天性代謝異常等検査
- ・ 家庭内での家事・育児分担の推進
- ・ 子育て世帯に優しい県営住宅の管理・活用

幼児期



- ・ 低年齢児保育施策の充実
- ・ 県広報番組の制作・放送（子育て応援番組）

若者・青年期・次世代へ

- ・ IT人材育成×女性就労支援MAITSURUプロジェクト
- ・ 子育て世代の移住促進



こどもビジョン2025
目指す社会の姿

こどもたち一人一人が大切に
され、全ての人がこどもの
育ちを支える社会
～未来を創る好循環～

小1の壁



- ・ 朝のこどもの居場所づくりモデル
- ・ 県営住宅の空きスペースを活用したこどもの居場所づくり

高校生



- ・ デジタルクリエイティブ人材育成
- ・ ぐんま留学・国際交流
- ・ 私立高等学校授業料支援

多様なニーズを抱えるこども

- ・ 児童相談所一時保護所こどもアドボカシー
- ・ 心と学びのサポートセンター「つなぐん」運営
- ・ 外国人児童生徒等教育充実総合対策
- ・ スクールソーシャルワーカー配置拡充

学童期・思春期



- ・ デジタルクリエイティブ人材育成
- ・ 非認知能力の評価・育成
- ・ 公立学校1人1台端末等整備

すべてのこどもが安心して健やかに成長できる環境

幼児期～学童期～思春期に切れ目のない支援環境

働きやすく暮らしやすく、選ばれ続ける環境



こどもまんなか推進プログラム 4つのテーマ

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組めます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

- ① ICTの活用による学びの機会拡大
- ② 非認知能力の育成
- ③ 希望に応じた働き方を選択できる環境整備

03 子育て世帯の負担軽減

妊娠・出産・教育・医療・住居等の様々な不安の解消や負担の軽減に取り組み、誰もが暮らしやすい地域の実現につなげていきます。

- ① 安心して妊娠・出産ができる環境整備
- ② 育児にかかる手続きの簡略化
- ③ こどもが地域で育まれる環境の充実

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

- ① こどもが安心して過ごせる居場所づくり
- ② 育ちに大きな影響を与える保育の質の確保
- ③ 外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり

04 社会全体の意識・構造改革

地域や社会全体でこどもや子育て世代を応援するとともに、労働環境を改善し、誰もが暮らしやすいと感じる風土・機運を醸成していきます。

- ① 家庭と仕事の両立
- ② 家事・育児分担の推進
- ③ 移住先としての群馬県の子育て環境のPR

01

群馬の未来担う若者の育成

① ICTの活用による学びの機会拡大

- ・ 国際的に評価の高いTUMOセンター（アルメニア）の人材育成プログラムを導入し、Gメッセ群馬にアジア初となる拠点「TUMO Gunma」を整備することで、中高生に対して世界標準のデジタルクリエイティブ分野における学びの機会を提供する。
- ・ 小中高生向け人材育成拠点「tsukurun」において、こどもたちが最先端のデジタル機材やソフトウェアで創作できる環境を整備することで、将来活躍するデジタルクリエイティブ人材を育成する。
- ・ ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、確かな学力を育成する。

② 非認知能力の育成

- ・ 非認知教育専門家委員会の助言を得ながら、指定校・協力校の実践やスコットランド等の海外の先進事例の知見などから、教育分野における群馬モデルを作成検討する。
- ・ ぐんまプレキッズ（小学3年生）、ぐんまスーパーキッズプロジェクト（小学4～6年生）、スタージュニア事業（中学生）により、運動能力に優れた人材を早期に発掘。年間を通じた運動能力向上プログラムを実施し、トップアスリートの育成を目指す。
- ・ 尾瀬の持続的、自立的な発展を目指す「尾瀬サステナブルプラン」の下、尾瀬の魅力を生かし、群馬らしい学びにより始動人を育成、尾瀬の保全と利用の好循環を実現する。

③ 希望に応じた働き方を選択できる環境整備

- ・ 多様な人材の労働参画、定着・活躍を支援するため、働きやすい職場環境づくりに加えて、働きがいのある魅力的な職場環境づくりを促進させる。



Oze Nature Learning



こどもまんなか推進プログラム 4つのテーマ

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組めます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

- ① ICTの活用による学びの機会拡大
- ② 非認知能力の育成
- ③ 希望に応じた働き方を選択できる環境整備

03 子育て世帯の負担軽減

妊娠・出産・教育・医療・住居等の様々な不安の解消や負担の軽減に取り組み、誰もが暮らしやすい地域の実現につなげていきます。

- ① 安心して妊娠・出産ができる環境整備
- ② 育児にかかる手続きの簡略化
- ③ こどもが地域で育まれる環境の充実

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

- ① こどもが安心して過ごせる居場所づくり
- ② 育ちに大きな影響を与える保育の質の確保
- ③ 外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり

04 社会全体の意識・構造改革

地域や社会全体でこどもや子育て世代を応援するとともに、労働環境を改善し、誰もが暮らしやすいと感じる風土・機運を醸成していきます。

- ① 家庭と仕事の両立
- ② 家事・育児分担の推進
- ③ 移住先としての群馬県の子育て環境のPR

02

全てのこどもの幸福度向上

① こどもが安心して過ごせる居場所づくり

- 自治体と県内プロスポーツチーム等と連携し、大舞台での活躍経験や豊富な知識を有するプロスポーツ選手等が学童クラブの児童と触れ合うことで、学童クラブでの体験活動の質向上を図る。
- 県営住宅併設の集会所改修による近隣在住児童・生徒に対する学習支援事業展開や、朝のこどもの居場所確保を通じた地域での子育て環境充実を実現する。
- 学校給食での有機農産物利用促進を通じて、地産地消や環境に優しい農業について学び、環境への意識醸成を図る。
- 「スクールソーシャルワーカーの配置拡充」を通じ、困難な状況にあるこどもの学ぶ機会の充実を図る。
- いつでもどこでもどのような方法でもつながる相談窓口「つなぐん」や「つなぐんオンラインサポート（つなサポ）」を通して、どこにもつながっていないこどもと保護者等を支援の輪につなげ、すべてのこどもたちに「一人一人の学びの場」を提供する。
- 県立公園の遊具の更新時期に当たり、インクルーシブな遊び方ができるスペースを検討する。



② 育ちに大きな影響を与える保育の質の確保

- 群馬県独自の視点から職員配置（1歳児4:1）を実現することにより、全てのこどもに十分な成長機会を与え、健やかに育ってもらうため、県が主導して低年齢児の保育環境を向上させる。

③ 外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり

- 「やさしい日本語」の普及を土台に、外国にルーツを持つこどもの健やかな育成につなげる。
- 教員の日本語指導に係るスキルを高め、全県で地域差のない指導・支援体制を構築し、日本語指導を要する外国人児童生徒等が自ら思い描く未来を実現する。





こどもまんなか推進プログラム 4つのテーマ

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組めます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

- ① ICTの活用による学びの機会拡大
- ② 非認知能力の育成
- ③ 希望に応じた働き方を選択できる環境整備

03 子育て世帯の負担軽減

妊娠・出産・教育・医療・住居等の様々な不安の解消や負担の軽減に取り組み、誰もが暮らしやすい地域の実現につなげていきます。

- ① 安心して妊娠・出産ができる環境整備
- ② 育児にかかる手続きの簡略化
- ③ こどもが地域で育まれる環境の充実

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

- ① こどもが安心して過ごせる居場所づくり
- ② 育ちに大きな影響を与える保育の質の確保
- ③ 外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり

04 社会全体の意識・構造改革

地域や社会全体でこどもや子育て世代を応援するとともに、労働環境を改善し、誰もが暮らしやすいと感じる風土・機運を醸成していきます。

- ① 家庭と仕事の両立
- ② 家事・育児分担の推進
- ③ 移住先としての群馬県の子育て環境のPR

03

子育て世帯の負担軽減

① 安心して妊娠・出産できる環境整備

- ・ 先天性代謝異常等検査の対象拡大により、出産前後の心理的不安解消と早期治療への橋渡しを実現する。
- ・ 県立小児医療センター移転による国立大学病院と県立の小児専門病院の隣接整備を通じた母体合併症への対応、小児から成人への移行期の患者への対応充実を図る。また、移転後を見据えた地域の周産期・小児医療体制も確保していく。
- ・ 妊産婦のメンタルヘルス対策や、事業者向け研修会を通じた産後ケア事業の充実により、核家族化によって孤立する現代の妊産婦の心理的・身体的負担軽減を行う。

② 育児にかかる手続きの簡略化

- ・ 利用者からの要望に応え、「デジタルぐーちょきパスポート」の複数パスポートの同時ログインを可能として利便性を高め、利用者の満足度の更なる向上を図る。
- ・ こどもの受診時にマイナンバーカードを保険証・医療受給者証として使えるよう、医療機関等に改修費を補助し、子育て環境のD X化を推進する。

③ こどもが地域で育まれる環境の充実

- ・ 子育て家庭で使用しなくなった学用品等を地域で融通し助け合う活動に取り組む民間団体を支援するため、ハッシュタグキャンペーンや団体活動の周知を行う。
- ・ こどもの塾や部活動送迎を対象としたデマンドタクシーにより、共働き世帯等における重要課題である家族の送迎負担を軽減するとともに、送迎の可不可によるこどもの教育格差の解消を図る。
- ・ 県営住宅について、子育て支援住宅の確保や入居要件の緩和、子育て支援施設としての空き住戸や集会所の活用を検討する。
- ・ 私立高等学校に通う生徒に係る費用負担を軽減するため、特に支援が不足している中間所得層における授業料支援を実施する。





こどもまんなか推進プログラム 4つのテーマ

01 群馬の未来を担う若者の育成

ICTを活用し学びの機会を拡大するとともに、非認知能力の育成に取り組めます。また、希望に応じた働き方を選択できる環境整備など若者が希望を持てる社会を目指します。

- ① ICTの活用による学びの機会拡大
- ② 非認知能力の育成
- ③ 希望に応じた働き方を選択できる環境整備

03 子育て世帯の負担軽減

妊娠・出産・教育・医療・住居等の様々な不安の解消や負担の軽減に取り組み、誰もが暮らしやすい地域の実現につなげていきます。

- ① 安心して妊娠・出産ができる環境整備
- ② 育児にかかる手続きの簡略化
- ③ こどもが地域で育まれる環境の充実

02 全てのこどもの幸福度向上

多様な支援ニーズを持つ全てのこども・子育てを切れ目なく支援し、こどもが健やかに育つという安心感を地域とともに育みます。

- ① こどもが安心して過ごせる居場所づくり
- ② 育ちに大きな影響を与える保育の質の確保
- ③ 外国にルーツを持つこどもが輝く仕組みづくり

04 社会全体の意識・構造改革

地域や社会全体でこどもや子育て世代を応援するとともに、労働環境を改善し、誰もが暮らしやすいと感じる風土・機運を醸成していきます。

- ① 家庭と仕事の両立
- ② 家事・育児分担の推進
- ③ 移住先としての群馬県の子育て環境のPR

① 家庭と仕事の両立 ② 家事・育児分担の推進

- 県内企業と連携し、商業施設等において、家事・育児分担や効率化の推進に関するイベントを開催することにより、機運醸成を図る。
- 企業認証制度の普及を通じた働きやすい環境整備を行う。
- 県内の求職中又は正規雇用を目指す女性等を対象に、ITスキルの習得から就労までを一体的に支援する。また、賃金向上等を目指す在職中の女性を対象に、社内でのキャリアアップにつながるスキルの習得を支援する。

③ 移住先としての群馬県の子育て環境のPR

- 県内市町村等との連携のもと、豊かな自然環境や東京との近接性、恵まれた住環境といった群馬県の暮らしの魅力を内外に示し、「子育て・若者世代」への訴求を通じた移住施策を展開する。特に、保育園の一時預かり、テレワークをパッケージ化した親子テレワーク移住体験事業「保育園留学」を実施するなど、より移住に繋がりやすい取組を強化する。



目指すところ

－ こども・子育て施策を社会課題解決のエンジンに －

真に「切れ目のない支援」に向けて

R7



R8



R9

...



R11

こどもまんなか
推進プログラム
運用開始

ライフステージを通じた
「切れ目のない支援」

- ・進捗管理
- ・予算確保
- ・プログラム更新

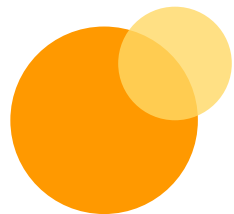
こどもまんなか
推進プログラムアップデート

「ぐんまこどもビジョン2025」(R7～11)

R7以降に生じた新たな課題についても、
“こども・若者の声”をしっかりと聴き、プログラムをアップデートして
切れ目なく支援

(ぐんまこどもモニター、児童相談所アドボカシー、高校生リバースメンター、
ぐんま子ども・若者未来県民会議など)

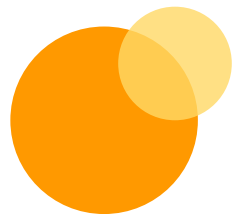
群馬県こども計画 **ぐんまこどもビジョン2025**の
目標達成を強力に推進



こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (1 / 8)

01 群馬の未来を担う若者の育成

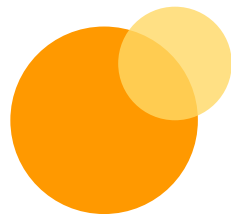
施策の方向性	事業名	R7当初予算額 (千円)	事業内容	所属
①ICTの活用による学びの 機会拡大	デジタルクリエイティブ人材育成 (tsukurun・TUMO Gunma)	346,871	県独自の人材育成拠点「tsukurun」と、国際的に評価の高い人材育成プログラムをアジアで初めて導入する「TUMO Gunma」により、日本一のデジタルクリエイティブ人材輩出県を目指す。	eスポーツ・クリエイティブ推進課
①ICTの活用による学びの 機会拡大	群馬県公立学校1人1台端末等整備	4,846,051	令和6年度からの5か年で、GIGAスクール構想において調達した1人1台端末を更新するにあたり、更新経費の補助等を行う。	(教)総務課
①ICTの活用による学びの 機会拡大	教育DX推進自走支援事業	40,587	「市町村による小中学校DX自走体制の構築支援」と「デジタルクリエイティブ人材育成への児童生徒の接続推進」を目指す。	(教)総務課
①ICTの活用による学びの 機会拡大	小中学校等のデジタル基盤整備	450,000	公立小中学校の校務支援システムとクラウドサービスを、県域で共同調達する。	(教)総務課
①ICTの活用による学びの 機会拡大	小中学校等のデジタル基盤整備	50,000	保育所の保育ICTシステムと国の感染症システムとの連携実証を行う。	こども・子育て支援課
①ICTの活用による学びの 機会拡大	群馬デジタルイノベーションチャレンジ	20,630	DXの発想やデジタルスキルを活用して地域課題の解決や新たな価値を生む人材(デジタル人材)を育成するとともに、子どもを取り巻く環境に関わらずデジタルスキルを学ぶ機会の平等を図る。	デジタルトランスフォーメーション課
②非認知能力の育成	非認知能力の評価・育成	50,270	非認知教育専門家委員会の助言を得ながら、指定校の実践や海外の先進事例の知見などから、群馬モデルを作成する。	(教)総務課
②非認知能力の育成	ぐんまプレキッズ・ぐんまスーパー キッズプロジェクト・スタージュニア	35,500	運動能力に優れた小学生を早期発掘し、専門的なトレーニングを行うことにより、全国大会や世界で活躍するスポーツ選手の誕生を目指す。 プレキッズ事業は種目を限定せずに小学3年生向け、スーパーキッズ事業は、小4～6年生向け。R7年度からはスーパーキッズ事業を、中学生にも延長し、より充実した一貫指導を行う。	スポーツ振興課



こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (2 / 8)

01 群馬の未来を担う若者の育成

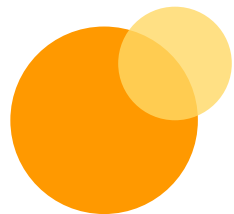
施策の方向性	事業名	R7当初予算額 (千円)	事業内容	所属
②非認知能力の育成	尾瀬ネイチャーラーニング (STEAM教育)	42,006	県内外の小中学校等がSTEAM教育を実践し、尾瀬において環境学習を実施する場合、その経費(ガイド・バス料金)の一部を補助。	自然環境課
②非認知能力の育成	高校生リバースメンター	5,000	高校生を知事のリバースメンターとして10名程度任命し、県政の課題や問題意識等を共有した上で、高校生ならではの斬新な発想をもとに知事へのアドバイス・政策提言等を求める。	戦略企画課
②非認知能力の育成	グローバル始動人テイクオフ事業	15,885	インディアナ州との学生相互交流や国際理解講座等を通して、国際的に活躍するグローバル人材を育成する。	地域外交課
②非認知能力の育成	アート教育 (群馬パーセントフォーアート推進)	2,000	①学校等におけるラーニングプログラムを実施 ②子どもたちにアートに触れる機会を創出するため、学校にパブリックアートを展示(モデル実施)	文化振興課
②非認知能力の育成	インディアナポリスこども博物館交流	2,397	インディアナポリス子ども博物館と県立自然史博物館の連携を推進し、両国の子どもたちを主役とした交流事業を実施する。	文化振興課
②非認知能力の育成	環境学習	3,474	小・中学校等で行われる環境学習を支援するため、移動環境学習車による「動く環境教室」を実施。	環境政策課
②非認知能力の育成	ぐんま留学・国際交流事業	2,846	群馬県の高校生が、多様な価値観をもった人々と交流できる場を充実させるとともに、地域や経済団体と連携しながら、県内の高校生の海外留学等を支援することで、県内高校生の留学への意識の向上や国際感覚の育成を図る。	(教)高校教育課
③希望に応じた働き方を選択できる環境整備	企業認証制度運用 ※テーマ4を兼ねる	3,094	育児・介護と仕事の両立や職場における女性の活躍推進、従業員のワーク・ライフ・バランスの実現等に取り組む企業を認証し、働きやすい職場環境づくりを後押しする。	労働政策課



こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (3 / 8)

02 全てのこどもの幸福度向上

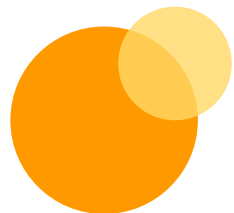
施策の方向性	事業名	R7当初予算額 (千円)	事業内容	所属
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	プロスポーツチーム等と連携したこどもの居場所づくり・体験創出モデル	2,783	群馬県に拠点を置くプロスポーツチーム等と連携し、長期休暇中の学童児童(学区児童を含む)を対象としたスポーツ機会を提供するこどもの居場所づくりモデル事業を実施する。	生活こども課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	県営住宅の空きスペースを活用したこどもの居場所づくり	4,230	学習支援などのこどもの居場所をつくり、こどもの生活習慣・学習習慣の確立や学習意欲の向上を図る。なお、居場所の提供にあたっては、県営住宅でほとんど使用されていない集会所を修繕し活用する。	生活こども課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	朝のこどもの居場所づくりモデル事業	24,000	小1の壁の一つである「朝のこどもの居場所」の不足を解消するために、朝の時間帯にこどもが安全に過ごせる居場所を設置する市町村に対し、委託経費等を補助する。	こども・子育て支援課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	学校給食への有機農産物利用促進(食と農)	2,537	県立特別支援学校等の学校給食で、群馬県産有機農産物を利用し、有機農産物の販路拡大及び将来にわたる有機農産物の消費拡大を図る。	農政課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	学びと家庭のサポート(スクールソーシャルワーカー配置拡充)	29,961	いじめ、貧困、虐待、ヤングケアラー等、学校内だけでは解決が難しい課題があるため、社会福祉等の専門性を生かして支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、生徒指導体制の充実を図る。	(教)義務教育課・高校教育課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	心と学びのサポートセンター「つなぐん」運営	24,283	児童生徒、保護者、教職員対象の各種相談窓口を一元化し、「心と学びのサポートセンター『つなぐん』」を開設。相談を関係機関へつなぎ、支援に導く役割を担う。また、様々な理由で長期欠席している児童生徒に対して、3Dメタバース上にアバターで参加する「オンラインサポート『つなサポ』」において、学習や教育相談、参加者同士の交流の機会を提供する。	(教)総合教育センター



こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (4 / 8)

02 全てのこどもの幸福度向上

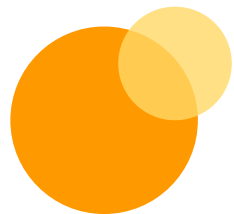
施策の方向性	事業名	R7当初予算額 (千円)	事業内容	所属
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	県広報番組の制作・放送 (子育て応援番組)	50,000	子育て世帯が楽しめる教育エンターテインメント番組を委託事業により制作し、テレビ放送するとともに、配信サービスを活用して県内外に発信する。	メディアプロモーション課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	ぐんまの食材でこども食堂応援	50	JAグループ協力のもと、系列の直売所・スーパー等からロスとなってしまった野菜等をこども食堂へ提供する。	生活こども課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	こどもの居場所づくり推進	8,279	こどもの居場所を新規で立ち上げる団体への補助や、相談支援、社会物資のマッチングを行う。	こども・子育て支援課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	子どもの生活・学習支援事業	19,502	町村部の生活困窮状態にある世帯の小中学生等に対し、居場所の提供や学習支援等を行い、生活習慣・学習習慣の確立や学習意欲の向上を図る。	こども・子育て支援課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	医療的ケア児等支援センター	25,063	医療的ケア児等及びその家族が身近な場所において必要な支援を受けられるよう、医療的ケア児等支援センターを運営する。	児童福祉課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	(児童相談所)一時保護所こどもアドボカシー事業	3,679	一時保護所が児童にとって安心・安全な居場所となるよう、入所児童の意見を聴くアドボカシー事業を実施する。	児童福祉課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	ヤングケアラー支援推進事業	19,819	ヤングケアラー支援コーディネーター事業を委託し、ヤングケアラーの相談窓口の運営等の支援を行う。	児童福祉課
①こどもが安心して過ごせる居場所づくり	ケアリーバー支援拡充	58,770	社会的養護自立支援拠点事業を委託し、社会的養護経験者(ケアリーバー)が相互交流できる場の提供など、自立後の支援を行う。	児童福祉課
②育ちに大きな影響を与える保育の質の確保	保育充実促進費補助金 (低年齢児保育事業)	135,876	県内(中核市除く)の保育所等(保育所及び認定こども園)において、1歳児の保育体制について、1歳児4人につき保育士等を1人配置(4:1配置)を実施している園を補助する(市町村経由)。	こども・子育て支援課



こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (5 / 8)

02 全てのこどもの幸福度向上

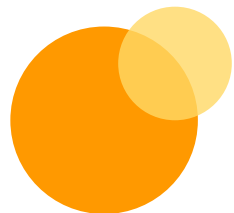
施策の方向性	事業名	R7当初予算額 (千円)	事業内容	所属
③外国にルーツを持つ こどもが輝く仕組みづくり	「やさしい日本語」普及	2,384	日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する小中学校教職員を対象に、「やさしい日本語」講座を実施。円滑な意思疎通を支援し、児童生徒の日本語理解、学力向上に資する。	ぐんま暮らし・外国人活躍推進課
③外国にルーツを持つ こどもが輝く仕組みづくり	外国人児童生徒等教育充実総合対策	98,434	集住地域における市町村の指導・支援体制充実のための支援や、散在地域における指導助言のできる教員の配置により日本語指導等のできる人材を計画的に育成し、市町村が主体となった体制構築を図る。また、外国人児童生徒等教育・心理サポート事業により、母語による電話相談対応やカウンセリング等を行う。	(教)義務教育課



こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (6 / 8)

03 子育て世帯の負担軽減

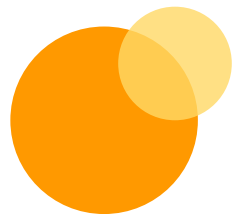
施策の方向性	事業名	R7当初予算額 (千円)	事業内容	所属
①安心して妊娠・出産できる 環境整備	先天性代謝異常等検査	172,859	先天性疾患の早期発見・障害予防のため、県内で出生した全ての新生児を対象に血液によるマススクリーニング検査を実施する。公費負担している22疾患に加え、検査・治療体制が確保されている7疾患について、新たに公費負担の対象とする。	児童福祉課
①安心して妊娠・出産できる 環境整備	周産期・小児医療体制整備	8,415	周産期・小児医療体制の確保を目的に、セミオープンシステムを参考にした産科連携システムの構築や、オンラインを活用した小児医療機関間の連携強化を図る。	医務課
①安心して妊娠・出産できる 環境整備	小児医療センター再整備事業 (基本設計業務等)	173,940	令和5～6年度に策定した新病院の目指す姿を明らかにする「小児医療センター再整備マスタープラン」に基づき、基本設計業務等を実施する。	(病)経営戦略課
①安心して妊娠・出産できる 環境整備	妊産婦支援充実(産後ケア事業等)	3,370	産後ケア事業所の安全管理研修会を開催する。また、妊産婦のメンタル不調に対して、精神科、産婦人科医療機関及び行政による連携のためのネットワーク構築事業を実施する。	児童福祉課
②育児に係る手続きの簡略化	デジタルぐーちょきパスポートの改修	3,933	複数パスポートの同時ログインを可能とし、会計時等でのパスポート提示作業の円滑化を図る。	生活こども課
②育児に係る手続きの簡略化	PMH利活用推進	18,080	子どもが受診時にマイナンバーカードを保険証・医療受給者証として使えるよう、医療機関等に対して改修費用を補助し、子育て環境のDX化を推進する。	健康福祉課
②育児に係る手続きの簡略化	子ども医療費補助(医療DX関係)	—	マイナンバーカードを医療費助成の受給者証として利用できるよう、全市町村に対し調整及び導入支援する。 他県での医療機関受診時も、県内医療機関受診時と同様に窓口負担なく受診できるような仕組みを構築する。	国保医療課



こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (7 / 8)

03 子育て世帯の負担軽減

施策の方向性	事業名	R7当初予算額 (千円)	事業内容	所属
③こどもが地域で育まれる 環境の充実	民間プラットフォームを活用した 学用品軽減	150	保護者の教育費負担軽減に向けたリユース品活用の機運醸成を 目的に、民間プラットフォームとのハッシュタグを用いた共同キャ ンペーンのほか、地域における譲渡会等の取り組み周知を行う。	生活こども課
③こどもが地域で育まれる 環境の充実	こどもデマンド (子ども向け送迎タクシー)	—	市町村の実施するこどもデマンドサービスの技術的な支援を行 う。	交通イノベーション推進課
③こどもが地域で育まれる 環境の充実	子育て世帯に優しい県営住宅の管理・ 活用	—	子育て支援住宅の確保や入居要件の緩和、子育て支援施設とし て空き住戸や集会所等の活用を検討。	住宅政策課
③こどもが地域で育まれる 環境の充実	群馬県私立高等学校授業料支援事業 補助金	407,040	教育費の負担軽減及び私立学校教育の振興を図ることを目的と して、高等学校等就学支援金において「加算なし」の認定を受けた 高校生に対して授業料の軽減事業を行う学校設置者に補助を行 う。	私学・青少年課



こどもまんなか推進プログラム登載事業一覧 (8 / 8)

04 社会全体の意識・構造改革

施策の方向性	事業名	R7当初予算額 (千円)	事業内容	所属
①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進	家庭内での家事・育児分担の推進	5,650	家庭内での家事・育児分担の見直しや効率化を家族で考えるきっかけを作ること、家庭と仕事の両立を支援するための機運醸成・意識浸透につなげるイベント・セミナーを実施する。	生活こども課
①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進	企業認証制度運営	3,094	育児・介護と仕事の両立や職場における女性の活躍推進、従業員のワーク・ライフ・バランスの実現等に取り組む企業を認証し、働きやすい職場環境づくりを後押しする。	労働政策課
①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進	働く女性の活躍推進	2,228	管理職の女性に占める割合を増加させるため、企業経営者・人事担当者等向けの講演会や、女性管理職候補者向けのワークショップ及び交流会を開催する。	労働政策課
①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進	働き方改革推進 (魅力ある職場づくり)	4,842	県内企業における「働きやすさ」や「働きがい」を高める取組を促進するため、経営者や人事労務担当者等を対象に、事例紹介やノウハウを学ぶセミナーを実施する。	労働政策課
①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進	IT人材育成×女性就労支援 MAITSURUプロジェクト	22,000	県内の求職中又は正規雇用を目指す女性等を対象に、ITスキルの習得から就労までを一体的に支援する。 また、賃金向上等を目指す就職中の女性を対象に、社内でのキャリアアップにつながるスキルの習得を支援する。	労働政策課
①家庭と仕事の両立 ②家事・育児分担の推進	女性医師等就労環境整備・保育支援	22,070	県医師会が実施する保育サポーターバンク運営事業に対して補助し、子育てを行う医師が働き続けやすい環境を整える。	医務課
③移住先としての群馬県の子育て環境のPR	ぐんま暮らしブランド化推進・ぐんま でテレワーク推進プロジェクト	76,380	群馬県の暮らしや子育て環境の魅力をPRし、子育て世代の移住を促進する。R7は新たに親子テレワーク移住体験推進に取り組む。	ぐんま暮らし・外国人活躍推進課